

階上町で臨時職員待遇改善 公契約運動もきっかけに！

階上町は臨時職員について現在5,400円の日給を、今年4月から6,300円に引き上げると2月28日に同町を訪問した県労連に伝えました。

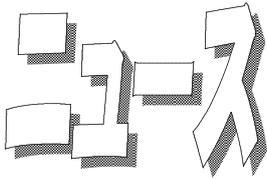
県労連は春闘の一環として、公的事業に就労する労働者の賃金水準引き上げと安全・安心な公的サービスの提供をめざして、公契約適正化運動に取り組みんでいます。取り組みの一つとして各自自治体にアンケートを送り、臨時職員の賃金・労働条件を調べました。今回の訪問は、アンケート結果を報告しながら、公契約運動への理解を求め、



【写真は公契約運動について説明する有馬美恵・県労連事務局長】

公契約条例の制定を要請するものです。階上町訪問もその一つ

三八地労連



三八地方労働組合総連合
発行●2011年3月7日
・第117号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院2階
☎・Fax 0178-47-8886

田村孝太郎さんご逝去

2月15日、三八地労連元議長(事務局長)の田村孝太郎さんが逝去されました。

田村さんは1991年から1995年までは事務局長、1996年、1997年は議長を勤められました。当時の所属は全動労東日本地方本部盛岡支部八戸分会(現在は建交労鉄道東日本本部八戸分会)。地方交通線を守る活動など地労連と地域のために奮闘なさいました。ご冥福をお祈りします。



【写真は1997/3/12 春闘キャラバン宣伝】

自治体要望書に回答

として行われました。懇談で、訪問の趣旨と公契約適正化運動のねらいを説明し、町の公契約についての姿勢や臨時職員の労働条件等をうかがっていたところ、総務課長が町からも伝えたいことがあると前置きし、前記の大幅な待遇改善を表明しました。そして、県労連が行ったアンケートもきっかけになったと述べました。

八戸市は、2月2日付けで地労連が提出した二〇一〇年度自治体要望書に文書で回答しました。すでに新聞発表されている子宮頸がんワクチンや乳幼児のヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン

訪問した側にとっても予想以上の発言で、素晴らしいお土産をいただいた気持ちになりました。正式には3月11日開会の議会で決まります。

また、訪問した他の町村でも待遇改善の動きが見られるなど訪問活動の効果が現れています。

なお、八戸市・田子町訪問は3月22日に予定されています。

チンの無料接種について曖昧に記述するなど不十分な内容でしたが、前進的な回答もあり、2月22日の幹事会で検討した結果、要望を提出した組合とも相談して今後の対応を決めていくことにしました。

回答書は各組合に送付しています。検討のうえ、地労連事務局にご意見をお寄せください。

春闘署名の取り組みを

派遣法改正と雇用の安定を求める署名
最賃・時給1,000円と中小企業支援を求める署名
・T P P参加に反対する署名
春闘の中で、右記の署名の取り組みをお願いします。随時集約しますが、最終集約は5月末の予定です。

当面の日程

- 3月9日 八戸原水爆禁止の会 総会、18時30分
- 医療生協組合センター
- 3月11日 重税反対統一行動
- 13時 プラザアーバンホール
- 3月15日 メーカー三八地区集会実行委員会
- 18時30分、三八教育会館
- 3月17日 春闘全国統一行動 地域一日総行動
- 17時45分、三春屋前集合
- 3月19日 県労連・組織拡大交流集会
- 14時 浅虫温泉・帰帆荘くまの
- 3月19日 シンポジウム「小川・水田・里山の自然」(科学者会議八戸分会3月例会)
- 13時30分、八戸市公民館
- 3月21日 T P P 反対県民集会
- 3月22日 公契約キャラバン、13時10分、市庁
- 3月23日 地労連幹事会⑨

TPP反対

地域経済・くらしを守る青森県民集会

日時 3月21日13:30~15:30

会場 青森市文化会館中会議室

主催 TPP反対青森県実行委員会

参加 各単組の計画

地労連として車1台予定

第51回評議員会を開催

2月8日三八教育会館で開催され、評議員15名(内委任状1)、評議員を兼務していない役員2名、傍聴者1名が参加しました。

議長には、高教組の大黒谷評議員が就任、中道議長が突然の校務で参加できなくなったため山田副議長が、東奥学園・長内先生の勝利と青銀労組の春闘の取り組みに触れてあいさつしました。

報告として、11月に提出した自治体要望書の回答書が届いたので幹事会で検討すること、ひだまりユニオンと協力して労働相談を行っていること、私立高校の入学金先取り問題、三八地労連MSOの公開等を述べました。春闘方針では、国・自治体のあり方を根本から変えようとしている「地域主権改革」のこと、青森県の労働者の状況(少ない正社員比率、深刻な格差、著しく異なる既婚率等)、「時間額」(〇円、月額1万円以上)のべ・ア要求、「雇用の安定」と社会保障拡充による「福祉国家」をめざして制度要求の実現を追求すること等を提起しました。



質疑・討論では、最初に全運輸東北航空支部八戸分会の評議員が施設の無人化により3月で分会の旗を閉じることを報告、各組合と地労連への謝辞を述べ、ボールを地労連に寄贈しました。全運輸八戸海運分会の評議員は「地域主権改革」による出先機関の統合・廃止に対して、国公として行動していくので協力をと訴えました。また、「人勸によらない給与削減を許さない」と広く訴えていくことを発言しました。全運輸八戸陸運分会の評議員は「組合員が少なくて行動になかなか参加できないが頑張りたい」と発言しました。

高教組からは、議長をつとめた大黒谷さんのように最近はい世代ががんばっている、集会の雰囲気明るくなっている、集会の発言しました。ゆきとどいた教育を考える三八の会として取り組んでいる私学の入学金問題についても説明、三八地区だけに残っている不名誉な状態を改めようと呼びかけました。年金者組合からは二人が発言、3月11日開催の重税反対全国統一行動で税務署に提出する署名の要請と秋に青森市で開催される日本高齢者大会のこと等が発言されました。さらに、「年金者組合は組合員が全国で10万人を超え全労連では3番目の組織に成長した。もっと組合員を増やし多数の力で要求を実現していきたい。」「地労連の活動として、(全

と三八地域にこだわった活動展開とすべきではないか」という提言もなされました。東北ビル従組からは、組合員が解雇に追い込まれたこと、同時に解雇されたパート・アルバイトの人たち(50人)は、ほとんどがダブルワーク、トリプルワークでたいへんな状況にあることを述べ、公契約適正化運動への期待を発言しました。八医労の評議員は、自らの春闘要求を紹介し、要求の実現とパート職員を組合に迎えられる活動に取り組むことを発言しました。

議案としては他に、2011年度暫定予算、役員選挙の定数、選挙管理委員選出が提案され、すべて拍手で承認されました。

県春闘決起集会に参加

2月20日に開催された県春闘

全運輸東北航空支部八戸分会

国土交通省東京航空局八戸航空路監視レーダー事務所(写真)が職場です。仕事は航空路のレーダーによる監視で、空の安全に貢献してきました。

省庁統合までは運輸省の所属だったため、全運輸という組織名称で活動してきました(間もなく組織統合の予定)。地労連へは、1996年6月25日全運輸八戸レーダー分会として加盟しました。2011年4月1日以降の施設無人化により分会の旗を3月末で閉じます。



決起集会には、三八から中道議長の他に新潟事務局長、海運分会、八医労、高教組、南部自治労連が参加しました。

講師の川端純四郎氏は、賃上げが景気回復の道「財界とマスコミにだまされないうために」と題して講演、新自由主義、ドル体制、中国封じ込め体制の終わりを述べ、日本の進路として、新自由主義をやめて賃上げ・所得再分配機能を再建すること、アメリカ一辺倒をやめアジアとの連携を強めることを提起しました。そして市民運動・労働運動の再建と地方選挙による世論の変革の重要性を強調しました。

